

平成17年10月21日

「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」の開催

総務省では、10月28日(金)から「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」を開催し、本格的なIP化時代を展望した競争政策の基本的考え方や、今後の接続・料金政策の在り方について検討を始めます。

1 目的

我が国では、現在、通信網がPSTN(回線交換網)からIP(インターネット・プロトコル)網へと急速に転換しつつあり、電気通信事業を取り巻く環境が本格的なIP化時代の到来に向けて大きく変化しつつあります。また、これに伴い、通信事業者のビジネスモデルについても従来の枠を超えた高度化・多様化が進展しています。本懇談会は、IP化への動きが本格化していると想定される2010年代初頭を念頭に置いて、それに対応した競争ルールの在り方について基本的な考え方を整理するとともに、接続・料金政策に係る検討の方向性を明確化することを目的として開催します。

2 検討事項

- (1)本格的なIP化時代の競争政策の基本的考え方
- (2)新しい接続政策の在り方
- (3)新しい料金政策の在り方

3 構成員

別紙のとおり。

4 開催期間

平成17年10月28日(金)に第1回会合を開催し、平成18年9月を目途に報告書を取りまとめる予定です。第1回会合は10時30分から総務省共用第4会議室において開催します。

連絡先 : 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
(担当:片桐課長補佐、能登部係長)

電話 : 03 - 5253 - 5844

FAX : 03 - 5253 - 5848

(別紙1)

「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」構成員

(五十音順、敬称略)

- 依田 高典 (京都大学大学院経済学研究科助教授)
江崎 浩 (東京大学大学院情報理工学系研究科教授)
尾家 祐二 (九州工業大学情報工学部電子情報工学科教授)
酒井 善則 (東京工業大学大学院理工学研究科教授)
佐藤 治正 (甲南大学経済学部教授)

菅谷 実 (慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)
関口 博正 (神奈川大学経営学部助教授)
東海 幹夫 (青山学院大学経営学部教授)
林 敏彦 (放送大学教授)
藤原 まり子 (株式会社博報堂生活総合研究所客員研究員)
舟田 正之 (立教大学法学部教授)
増野 大作 (野村證券株式会社金融経済研究所企業調査部主任研究員)
森川 博之 (東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授)